

関市のバス交通に関する市民アンケート

平成 22 年 12 月

関市公共交通活性化協議会
関市企画部まちづくり推進課

－ ご協力をお願い －

関市では、国土交通省中部運輸局の認定を受けて『地域公共交通総合連携計画』^{注*}を策定し、平成21年度～23年度にかけて市内でバスの実証運行を行っております。そこで、その実証運行バスの評価および今後の市内バス交通の検討を行うための基礎データを得ることを目的として、市民の皆様のバス交通に関するご意見等をお伺いするアンケートを実施することに致しました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、以上の趣旨をご理解の上、アンケート票の記入にご協力下さいますようお願い申し上げます。

このアンケートに回答して頂く方は、高校生以上（15歳以上）の市民の皆様の中から無作為に選ばせて頂きました。**宛名のご本人がお答え下さい。**ただし、ご本人がお答えになれない場合は、ご家族の方がお答え下さい。また、平成20年度に『関市民の生活交通に関するアンケート』を実施しましたが、無作為抽出により、本アンケートも同じ人に配布される可能性もありますが、上記の趣旨をご理解の上、本アンケートにもご回答下さいますようお願い申し上げます。

本アンケートは上述の目的以外には一切使用せず、すべて統計的に処理しますので、個人の秘密を侵すことは絶対にございませぬ。本調査に関してご質問等ございましたら下記担当者までお問い合わせください。

アンケート結果は、関市のホームページ等で公表する予定です。また、平成20年に実施しましたアンケート調査の結果や関市地域公共交通総合連携計画は、関市ホームページから閲覧出来ます。『<http://www.city.seki.gifu.jp/info/koutu/index.htm>』

■ ご記入にあって

- ・各設問に対して順にお答え下さい。指示がある場合は、それに従って下さい。
- ・回答は、番号に○を付けて頂くものと、具体的に記述して頂くものがございます。
- ・ご記入頂いたアンケート票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**1月10日（月）**までに
ご郵送下さいますようお願い致します。

<お問い合わせ先>

関市役所 企画部 まちづくり推進課（担当者 山田・篠田）

電 話：（0575）22-3131（代）



注*：地域公共交通総合連携計画とは、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（2007年10月施行）に基づき、市町村が主体となって地域の関係者（市民、交通事業者、道路管理者、警察、学識経験者等）による協議会を設置し、地域の公共交通の活性化及び再生を総合的かつ一体的に推進するための計画です。計画に基づく協議会の取り組み（地域内バスの実証運行等）に対して、国から総合的な支援が受けられるものです。参考として、裏面に『関市地域公共交通総合連携計画』の概要を掲載しております。

関市地域公共交通総合連携計画の概要



関市地域公共交通活性化協議会

平成20年3月21日設置
平成21年3月24日連携計画策定

概要

「行きかい、ふれあい、つながりの生まれる公共交通ネットワークを構築」するため、以下の6つの基本方針を設定し、公共交通の利用促進を図る。

- 市民利用ニーズに応じた最低限の日常生活の移動を確保
- 地域の特性に応じ、都市間交通、市内の地域間幹線交通、地域内交通に区分し、需要に応じたサービスで展開
- 各路線区分を乗継拠点で結節させ、利便性の高い公共交通ネットワークを構築
- 公共交通に対する公的支援を、より効率的、効果的に活用
- 地域交通を守り、育てていくために、行政、事業者、市民の役割分担を明確化し、連携・協働し事業を推進
- 継続的なPDCAサイクルによる効率的なネットワークへの改善



○バス路線の再編

- 幹線交通 西ウイング地域（関板取間バス）の実証運行
東ウイング地域（関上之保間バス）の実証運行
- 地域内交通 中山間地域内交通の実証運行
買物循環線の実証運行
病院循環線の実証運行
マーゴ東山線の実証運行
関地域内の支線バスの実証運行
関地域内のデマンド運行の実証運行

○乗継拠点の整備

- 待合環境整備・乗継拠点施設整備
（待合施設、バス停留所整備）

○公共交通の利用促進策

- 啓発活動 利用促進イベント、広報・PR
* 公共交通シンポジウムの開催 H22.9.18
モビリティマネジメントの実施
- 利便性向上策 公共交通マップ・時刻表
運行情報案内板、乗継案内板
バスロケーションシステムの導入
運賃体系、運賃制度
ICカード導入

幹線交通の実証運行

地域内交通の実証運行

乗継拠点の整備

運行情報案内板
ICカード等

岐阜バス「アユカ」

★★★ 関市自主運行バス 料金表 ★★★ H.21.10.1

関上之保線

せき東山・武儀事務所 経由）-川合車庫

				川合車庫	
			下名倉	100	
			一柳	100	200
		高沢観音口	100	200	200
		上日立	100	200	300
	関市役所	100	200	200	300
栄町1	100	100	200	200	300

洞戸関線

病院-（関市役所・河東 経由）-中濃庁舎

					中濃病院
				関市役所	100
			関ノ上口	100	100
		中有知	100	100	100
	高速美濃バス停	100	100	100	100
中濃庁舎	100	100	100	100	100

関板取線（寺尾ルート）

関中央病院-（関市役所・武芸八幡・寺尾 経由）-洞戸車庫

				関中央病院	
			広見唐橋	100	
		マルキ北	100	200	
		寺尾	100	200	200
	洞戸観光やな	100	200	300	300
洞戸車庫	100	200	200	300	300

関板取線（山県高校ルート）

関中央病院-（関市役所・武芸八幡・山県高校 経由）-洞戸車庫

					関中央病院
				広見唐橋	100
			マルキ北	100	200
		一色橋	100	200	200
		山県高校前	100	200	200
	樺瀬	100	200	200	200
洞戸車庫	100	200	200	200	300

買い物循環線	中濃厚生病院……関市役所 間	100 円均一
市街地病院循環線	中濃厚生病院……関市役所 間	100 円均一
わかかさ・下有知線	中濃厚生病院……中濃厚生病院 間	100 円均一
わかかさ・小瀬線	中濃厚生病院……中濃厚生病院 間	100 円均一

マーゴ・せき東山線	マーゴ前……せき東山 間	100 円均一
わかかさ・小金田線	中濃厚生病院……中濃厚生病院 間	100 円均一
わかかさ・千足線	中濃厚生病院……中濃厚生病院 間	100 円均一
デマンド運行（富野線、田原線、迫間線、向山線）		100 円均一

注）路線名と起終点は、H22.4.1 改編時（現行）に訂正しております。

問5 **問4**のあなたが**最も利用するバス路線について**、次の(1)～(6)の設問にお答え下さい。
1 路線も利用経験がない方は、**問6**へ進んで下さい。

(1) その利用頻度(利用回数)はどれくらいですか?

1. ほぼ毎日 2. 週に2,3回 3. 週に1回程度
 4. 月に1,2回 5. 数ヶ月に1回程度 6. その他()

(2) その主な利用目的は何ですか?

1. 通勤 2. 通学 3. 業務 4. 買物 5. 通院 6. その他()

(3) そのバス路線の利用満足度はどのくらいですか?

1. 満足 2. だいたい満足 3. わからない 4. やや不満 5. 不満

(4) そのバス路線について、どれくらい改善してほしい要望がありますか?

以下の各事項に関して、それぞれ改善要望の度合いを番号で選んで(5段階評価して)下さい。
 また、**具体的要望があれば記入**して下さい。

事 項	改善要望					具体的要望
	低い	←————→			高い	
【例】 ア. 運行本数【改善要望がやや高い場合】	1	2	3	4	5	(1) 本/日・ 時間
ア. 運行本数	1	2	3	4	5	() 本/日・時間
イ. 始発時刻	1	2	3	4	5	() 時 () 分
ウ. 終発時刻	1	2	3	4	5	() 時 () 分
エ. 運賃	1	2	3	4	5	
オ. 運行経路(ルート)	1	2	3	4	5	
カ. バス停の間隔、位置	1	2	3	4	5	
キ. 鉄道または他のバスへの乗り継ぎ	1	2	3	4	5	
ク. バス車両	1	2	3	4	5	
ケ. バス停留所	1	2	3	4	5	
コ. 運行の情報提供	1	2	3	4	5	
サ. 運行の正確さ	1	2	3	4	5	
シ. その他()	1	2	3	4	5	

(5) あなたは、1回の乗車でどれくらい運賃を支払っても**よい**と思いますか?

現在の運賃に対して、いくら支払うことができるかお答え下さい。

現在支払っている運賃()円 → 支払っても**よい**運賃()円

(6) 平成21年度のバス路線の見直し前と比べて、外出頻度は変わりましたか?

1. かなり外出が増えた 2. 少し外出が増えた 3. 変わらない 4. 外出が減った

問6 あなたは、市内にバス交通は必要だと思いますか?

1. 必要だと思う 2. 必要ないと思う ⇒ **問8**へ 3. わからない ⇒ **問8**へ

問7 **問6**で『1. 必要だと思う』と回答された場合、何のために必要だと思いますか？

以下の各事項について、該当する番号を選んで下さい。

事 項	全く そう思わ ない	あまり そう思わ ない	どちらでも ない (わからない)	やや そう思う	非常に そう思う
ア. 高齢者の外出のために必要	1	2	3	4	5
イ. 子供の通学のために必要	1	2	3	4	5
ウ. 環境負荷の軽減のために必要	1	2	3	4	5
エ. 車を運転しない・できない時のために必要	1	2	3	4	5
オ. 送迎負担の軽減のために必要	1	2	3	4	5
カ. まちの活性化のために必要	1	2	3	4	5
キ. 都市資産・まちづくりの基盤として必要	1	2	3	4	5
ク. まちのシンボルとして必要	1	2	3	4	5
ケ. その他 ()	1	2	3	4	5

問8 市内バスを運行するためには、税金等の公的資金の投入による費用負担が必要となっています(現況では、税金等を通じて年間約3億円、1世帯あたり約8,500円/年(約700円/月)の公的費用負担が必要となっています) が、そのことについてどう思いますか？

1. 公的費用負担は必要なことだと思う
2. やむを得ないと思う
3. もう少し公的費用負担を減らすべきである
4. 公的費用負担はやめるべきである
5. その他 ()

問9 市内バス交通を確保・維持していくためには、どのような政策が重要だと思いますか？

以下の各事項について、該当する番号を選んで下さい。

事 項	非常に 重要	やや 重要	どちらでもない (わからない)	あまり 重要でない	重要で ない
ア. 住民、交通事業者、行政等の連携・協力体制を強化する	1	2	3	4	5
イ. バスは、自分たちのバスであり、自分たちで守るという意識を醸成させる	1	2	3	4	5
ウ. バスサービスの見直し・改善を弾力的に行う	1	2	3	4	5
エ. 市民の環境問題に対する意識を向上させる	1	2	3	4	5
オ. バスを利用しない人にもバス交通の重要性(バスも社会資本の一つ)をPRする	1	2	3	4	5
カ. バスに関する様々な情報(バスマップ・時刻表、公的費用負担等)を随時広報する	1	2	3	4	5
キ. 子供に対しバスの乗り方等の教育をする	1	2	3	4	5
ク. バスを使ったイベントを開催する	1	2	3	4	5
ケ. 車両の改善やバス停留所の整備等を行う	1	2	3	4	5
コ. その他 ()	1	2	3	4	5

問10 現在の市内バス交通は、利用者の運賃収入や税金等の公的費用負担により運行されています。今後もバス交通を確保・維持するため、市民が‘支援金’など運行経費の一部を負担して支えていくことも考えられます。仮にあなたがこの支援金を支払うとした場合、世帯あたりで月間いくらまで支払ってもよいと思いますか？なお、未成年者や非納税者は回答して頂かなくて結構です。

月額 () 円/世帯 までなら支援金を支払ってもよい

